

1 「これまでの質疑応答」(資料4-1 2ページ に対する更問)

質問①：2040年問題に備えるビジョンは？

回答：「高齢者が いつまでも 住み慣れた地域で 健幸で 安心して暮らせるまち」が基本理念であり、ビジョンである。

<p>更問1) 基本理念とビジョンは根本的にちがうものではないですか？</p> <p>基本理念は現在、さらに未来に向けていつも念頭に置き追求する、普遍的な価値と思います。例えば「清く 正しく 美しく」のような。「高齢者が・・・」は確かに基本理念にあたると思います。しかし、ビジョンではないのですか？ビジョンは特定の将来(例えば 10 年後)を描く、計画するという事ではないのでしょうか？基本理念の抽象的、普遍的メッセージではなくて、2040年に備えるためのビジョンはあるべきと思いますが如何ですか？</p>	<p>回答</p> <p>高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の施策体系については、国の基本指針をガイドラインとしつつ、第8期計画のものを引き継ぐことについて、第2回運営協議会で皆様に承認をいただいております。</p> <p>施策体系では、基本理念の達成に向け、国の指針を踏まえ、2040年を見据え、第9期計画期間の3年間における基本目標1から4を設定しております。基本目標に続く施策の方向性、それに続く主な取り組みを実施していくことにより、2040年への備えを継続してまいります。</p> <p>このような形式をとっておりますので、改めて「ビジョン」という言葉を用いることは考えておりません。</p> <p>なお、基本理念につきましては、3年毎に見直しの検討を行っておりますので、普遍的なものではありません。</p>
---	--

質問②：2040年に向けての取り組みを示す必要があるのではないか？

回答：第四回資料の3-1, 51ページと52ページの施策の方向性、主な取り組みで記載している。第四章で詳細記載している。

<p>更問2-1)</p> <p>上記の回答の資料3-1は第9期事業計画(第8期事業計画も同様の記載内容)やそれ以降の将来に向けての普遍的な方向性、取り組みと見えます。敢えて「2040年」という特定の年月を切り出すのであれば、そこに対する特別の施策やビジョン、備えが必要ではないか？</p>	<p>回答</p> <p>施策体系は、第8期計画のものを引き継ぐことの承認をいただいておりますが、第10期計画以降のものは未定であり、普遍的なものではございません。</p> <p>また、施策体系で掲げる施策については、国の指針等をふまえ、中長期的な視点で、「2040年への備え」、「2040年をみすえた施策」として実施するものです。</p> <p>市の計画は国の基本指針と同様、3年間が計画期間であることから、「2040年(問題)」に対して特別の施策やビジョン等を計画に明記することは考えておりません。</p>
---	---

更問 2-2)

この後の回答の中で「第 9 期事業計画は 3 か年計画であり、「2040 年問題」に対してという形で言及することや具体的な取り組みを記載しない。」とあることに矛盾していないか？

回答

本計画の中で「2040 年（問題）」を切り出しておりませんので、矛盾は生じていないものと考えております。

2 今回の回答（資料4-1 3ページ）に対する質問

回答：第9期基本計画は2024～26の3か年計画であり、2040年を見据えた中で、これまで取り組んできた施策を基本としながら、更なる充実、推進を図る内容としております。

<p>質問： 1) 2040年を見据えたとありますが、何をみすえているのですか？</p>	<p>回答 生産年齢人口の減少が加速する中で、2040年頃に高齢者人口がピークを迎えることによる介護人材不足が予測されており、介護が必要な人に対し、十分な対応やサービスができなくなる事態が生じる可能性を見据えており、それを防ぐための施策を今後実施していく必要があることを認識しております。</p>
<p>2) 「これまで取り組んできた施策を基本とし更なる充実、推進を図る」ということですが、「更なる充実、推進を図る」とは具体的にどのような充実、推進ですか？ もしくは、現行の延長線（敢えて特別な施策はない）で2040年を取り組む？ということですか？</p>	<p>回答 充実・推進を図る取り組みとしては、主に以下のものが該当します。</p> <ul style="list-style-type: none">・地域包括ケアシステムの深化・推進・地域密着型サービスの新規整備・人材確保の支援策としての介護に関する入門的研修の主催 <p>なお、国の指針や市の計画については、これまでも前の計画期間のものをベースに加筆、修正を加えて見直す手法で策定しており、その意味では延長線と言えます。</p>
<p>3) 現行施策の延長線上にあるのであれば、将来不安を抱かせる、特に「2040年」をあげて言及する意図はどこにあるのですか？</p>	<p>回答 第8期計画においても、2040年を見すえて、各施策の推進に取り組んでおります。第9期計画の施策体系では、第8期計画にあった基本方針「地域共生社会の実現と2040年への備え」を削除しておりますが、国の基本指針をガイドラインとして、本市の計画を策定していくという考え方に変わりはありません。</p>

<p>4) 今回の素案 4 ページで「団塊ジュニア世代が 65 歳以上となる令和 22 年 (2040) を見据えて、中長期的視点から施策の展開を図る」とありますが、</p> <p>① 中長期的視点を図「⇒」で記載していますが、どのような視点ですか？各 3 か年の事業計画とは違った視点があればお示しください。</p>	<p>回答①</p> <p>「中長期的」という言葉は、国の指針から引用しており、これまで「2025 年及び 2040 年を見据え」と同様の意味合いで使用されてきました。このことから、各 3 か年の事業計画と違った視点はありません。</p> <p>なお、2025 年が間近に迫る中で、第 9 期計画の国の指針では、「(2025 年及び) 2040 年を見据え」という言葉は、「(2040 年等の) 中長期を見据え」と改められました。</p>
<p>② 施策の展開を図るとありますが、敢えて「2040 年」を明示した、どのような施策の展開がありますか？今回の第 9 期事業計画の中でお示しください。</p>	<p>回答②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型サービスの新規整備 ・ 人材確保の支援策としての介護に関する入門的研修を開催などがあります。

3 その他追加質問：

<p>「2025年」は第9期計画中であるが、 1) 具体的にどのような課題があり？</p>	<p>回答 地域包括ケアシステムの深化・推進</p>
<p>2) どのような取り組みを第9期の中で行うのか？ (これについては前回、第4回審議会向けに事前質問した内容で、既にご回答を頂いていたかもしれませんが、記憶があやふやでしたので、改めて質問しました。)</p>	<p>前回回答 地域包括ケアシステムの深化・推進に向け、地域ケア会議の推進や地域包括支援センターの体制強化を始めとする、様々な事業・サービスの充実に努めます。</p>

4 在宅医療・介護連携の推進（資料4-1 1ページ）

<p>4. 在宅医療・介護連携の推進 回答で詳細な数値を確認しました。この資料を見る限り、在宅医療は現状充足しているように見受けられます。高齢者実態調査アンケートによれば、近くに訪問診療してくれる医者がないと答えた人は5割をしめ、わからないが4割。また利用したいが4割、費用がどれくらいか分からない4割と、在宅医療・訪問診療を希望する人が多いが、医師がない、利用法が分からない人が相当数います。アンケートと実態との間に相当のギャップが見受けられます。 1) このギャップを埋める、解消する施策を何か考えていますか？</p>	<p>回答 訪問診療専門の医療機関の充足に対し、その存在や利用方法について知らない割合が半数近くいる主な原因として、周知不足が挙げられます。 必要になったときに、すぐに利用に結び付くよう、訪問診療機関の周知を行うと共に、利用に係る費用等について、分かりやすい説明をホームページに掲載するなど、工夫してまいります。</p>
---	--

新規質問（資料４－２（素案）に対する質問）

<p>1) 第9期の重点施策はなんですか？ページでお示してください。</p>	<p>回答 前回いただいたご意見や国の指針等をふまえ、53 ページに「重点」というマークを付けたものが重点施策と言えます。 (64 ページ、70 ページ、85 ページ、97 ページ、112 ページ)</p>
<p>2) 第9期で新たに取り組む施策はなんですか？</p>	<p>回答 これまで取り組んできた施策を基本とし、地域包括ケアシステムの深化・推進や地域密着型サービスの新規整備、人材確保の支援策としての介護に関する入門的研修の主催などに取り組めます。</p>
<p>3) ページ 68 最後の行で「ふれあい・いきいきサロン」の新規開設や活動を支援します。」とあり、これは第8期の記述とおなじです。 ①8期で新規開設されたのはいくつですか？</p>	<p>回答（久喜市社会福祉協議会） 第8期で新規開設されたのは7か所です。</p>
<p>②第9期ではいくつ開設を予定していますか？</p>	<p>回答（久喜市社会福祉協議会） ふれあい・いきいきサロンについては民生委員や福祉委員の方が活動の中で高齢者の集まる場所の必要性を検討し、開設するような性質のものなので、予定数等はございません。</p>
<p>4) ページ 69 多世代間交流の推進 小中学生が施設への訪問、ボランティア以外に高齢者との交流や、例えば共生社会やその街づくりを考えていますか？</p>	<p>回答（久喜市教育委員会指導課） 各小中学校や保育園がイベントを行う際に地域の高齢者に声をかけイベントに参加してもらい、多世代間の交流を推進してます。</p>

<p>5) ページ 97 及び 98 第 4 節 (基本目標 4)</p> <p>① “1. 介護保険施設・サービスの充実 重点”とありますが、なにが重点でしょうか？</p>	<p>回答</p> <p>前回いただいたご意見や国の指針等をふまえ、53 ページの施策の方向性の中で、重点的に取り組むべき項目に、「重点」というマークを付けました。</p> <p>97 ページの「重点」は、それに対応するものです。</p>
<p>② サービス基盤の整備目標の図表の中で、介護老人福祉施設及び介護老人保健施設の施設数、定員は第 8 期開始時令和 2 年～から全く同じで変わっていません。第 9 期についても、9 期における新規整備がないとのこと、新規目標がすべて” 0 ”の整備（しかも重点）とはどのような整備ですか？ 地域密着型サービスについても殆どが” 0 ”ベースの整備です。これについてもご回答願います。</p>	<p>回答</p> <p>むやみに施設を開設すると供給過多になってしまい、施設の運営にも影響を及ぼすため新規整備については慎重に検討しなければなりません。利用者の増加とすでに開設が予定されている施設を考慮し、市として新規に整備すべき施設を検討した結果となります。</p>
<p>6) 103 ページ 図表 介護予防ボランティアポイント事業の見込量</p> <p>① 第 8 期の見込と実績の乖離が非常に大きい。第 9 期で前期より若干見込を減らしているがそれでも、8 期の実績から大きな隔たりがある、どのようにして見込に近づける実績を上げるのか、その施策を説明ねがいます。</p>	<p>回答</p> <p>介護予防ボランティアポイント事業については、介護事業所をボランティア活動の受け手として実施を予定していた事業でございましたので、新型コロナウイルス感染の影響により受け入れが難しく、第 8 期の期間中については、高齢者福祉課内の事業におけるボランティア活動を当該事業の対象として実施してきたものです。</p> <p>今後につきましては、各事業所等へ受け入れの意向を伺うなど、受け入れ先の確保に努め、見込に近づけられるよう努めてまいります。</p>

<p>7) ページ 111 図表 はつらつ運動教室の実施上数</p> <p>第 8 期の実施会場数より若干減じています。当方 2022 年 11 月に同様の教室ふめいですが、久喜市主催の運動教室に参加しました。週 1 で 4 回だったと思いますが、定員 24 名に対し参加者は 12 名（実際は欠席者があり 10 名ぐらい）に対し柔道整体師 7 名いました。運動教室の内容はよかったのですが、参加者に対して 7 名の指導員は疑問に思いました。定員を減らして、指導員も減ずる、もしくはできる限り定員に近い参加者となるよう、広報活動をするなどの何らかの対策を感じました。長くなりましたが、</p> <p>①盛況となるような工夫及び、事業計画では教室の実施数ではなくて、参加の延べ人数で目標の設定・把握を行うべきと思いますが、如何ですか？</p>	<p>回答</p> <p>はつらつ運動教室につきましては、現在 37 の会場で、はつらつリーダーの運営により、週 1 回で実施しています。参加する会場を増やすことで、延べ参加者数も増加いたします。</p> <p>また、会場の運営には 3 人程度のはつらつリーダーが必要です。このため計画では、はつらつリーダーの養成人数と会場数について、記載させていただいております。</p>
--	---